

7月1日・22日 社会を明るくする運動
犯罪のない明るい未来を目指して

社会を明るくする運動菊池市推進委員会が市内6店舗で街頭啓発活動を実施しました。会員は店舗を訪れる市民の皆さんにリーフレットや啓発用品などを配布。安全で安心な地域社会づくりの必要性を呼びかけました。この運動は、全ての国民が犯罪や非行の防止と過ちを犯した人の立ち直りについて理解を深め、犯罪や非行のない安全で安心な地域社会を築こうとする全国的な運動です。



関係団体などからのべ130人が街頭啓発活動に参加しました

7月6日 被災地復興支援
今年もおいしいサクランボが届いたよ！

被災地の子どもたちに元気になってもらおうと、広島県在住の方から市内の幼稚園と保育園に、サクランボが届けられました。昨年に続き2回目。贈られたのは山形県産（鶴岡市・河北町）のサクランボ「佐藤錦」で1キロ入りの箱が全部で162箱。福本保育園では、おやつ時間にサクランボを食べました。園児たちは「甘い！」「もっと食べたい！」と歓声を上げながらほおばっていました。



たくさん届いたサクランボを前に笑顔を見せる園児たち

7月8日 全国道場少年剣道選手権大会熊本県予選
菊池白龍館の後藤楓花さんが全国へ

旭志体育館で全国道場少年剣道選手権大会熊本県予選会が開催され、菊池白龍館の後藤楓花さん（泗水小6年）が個人女子の部で優勝。10月8日宮城県仙台市で開催される第35回全国道場少年剣道選手権大会への出場が決定しました。

後藤さんは「全国大会に出場でき先生や家族に感謝しています。優勝目指して全力で頑張ります」と抱負を語りました。



優勝した後藤さん

6月30日 2017年全国広報コンクール授賞式
菊池広報が6年連続で全国表彰

2017年全国広報コンクール（日本広報協会主催）で、菊池広報が広報紙部門と広報企画部門の2部門で入選しました。本コンクールでの受賞は6年連続。地方自治体の広報活動の向上を目的に、昭和39年から実施されています。入選した広報紙は昨年6月号。熊本地震を特集した内容が高い評価を受けました。広報企画は災害時の行政広報のあり方を提案したものが評価されました。



菊池広報6月号 広報企画

7月2日 菊池市消防団菊池方面隊操法大会
市民を火災から守るために

総合体育館駐車場で菊池市消防団菊池方面隊の操法大会が開催され、15チームが日頃の訓練の成果を披露しました。大会結果は次のとおりです。（敬称略）
【優勝】第3分団第1部【準優勝】第1分団第2班【3位】第7分団第6部【個人賞】指揮者：小林裕明（第3分団第1部）、1番員：小林勇樹（第3分団第1部）、2番員：有田剛（第3分団第1部）、3番員：外村公平（第3分団第1部）



優勝した第3分団第1部の選手の皆さん

7月7日 ななしろ産デー
地産地消で郷土愛を深めよう

七城小・中学生に地元の農産物を知ってもらい、生産者と交流することで郷土愛を深めてもらおうと「ななしろ産デー」が開催されました。七城学校給食センター主催。七城米や七城豚、七城メロンなどを使った給食を生徒と生産者が一緒に食べて交流しました。七城中2年の古庄航大さんは「いつもおいしい料理を食べられるのは生産者のおかげ。感謝しています」と話しました。



生産者と一緒に給食を食べて交流を深めました

6月10日 「みどりの愛護」
深川フラワーズと上町老人会が国土交通大臣表彰受賞

深川フラワーズと上町老人会の2団体が第28回「みどりの愛護」功労者国土交通大臣表彰を受賞しました。

この表彰は、花と緑の愛護に優れた活動を行い、緑化推進に積極的に取り組んでいる民間団体を表彰するもので、今年で全国で133団体が受賞。県内では本市の2団体のみが選ばれました。

石川県金沢市で行われた表彰式に参加した深川フラワーズ代表の原田秋彦（深川）さんは「長年活動を行ってきた成果の一つ。今後も緑化活動を頑張りたい」と喜びを語りました。上町老人会代表の茨木國廣さん（上町）は「受賞したことで今後も活動を続ける活力となりました」と抱負を語りました。



（左上）深川フラワーズの皆さん（右上）上町老人会の皆さん
（左下）深川フラワーズの緑化活動（右下）上町老人会の清掃活動

6月25日 花房台の祭典
地域の絆を深める

花房台区公民館で「花房台の祭典」が開催され、区民や近隣住民など約100人が参加しました。住民同士の交流や地域コミュニティの活性化などを目的に、同区の中村明子さんが企画。城北高校ダンス部による山鹿灯籠踊りや黒田節などが披露されました。中村さんは「住民同士が交流を深めるきっかけになればうれしい。困ったときには支え合う優しい地域を目指したい」と話しました。



優雅でしなやかな踊りで会場を魅了しました

6月24日 第50回まちづくり道場
これまでのまちづくり道場を振り返る

毎回ゲストを招いて対談するまちづくり道場が松倉邸で開催され、市内外から約30人が参加しました。今回は50回の節目ということもあり、これまでの歩みを振り返ろうと過去のゲスト3人を招き座談会を開催。主催者の佐藤忠文さんがコーディネーターとなり、地域づくりなどを語りました。佐藤さんは「皆さんのおかげで50回を迎えられた。100回を目指してこれからも頑張りたい」



菊池の町づくりについて意見を交わしました

6月29日 更生保護事業
2人の保護司に法務大臣感謝状

法務大臣から元保護司の上田寛さん（袈裟尾）と神谷砥子さん（菊池平野）に感謝状が贈られました。2人は平成17年に保護司に就任し、今年6月に任期満了のため退任。長年にわたり更生保護事業に尽力した功績が認められ感謝状が贈呈されました。

2人は「少しでも社会に貢献できればという思いで続けてきた。今後も貢献できるように頑張りたい」と話しました。



左から上田さん、神谷さん

6月29日 代替施設使用協定
災害に備えて代替施設使用協定を締結

菊池警察署で大規模災害発生時の施設使用協定の調印式があり、同署の米満幸一署長と城北自動車学校の福村優子代表取締役社長が協定書を交わしました。協定は大地震などで同署が機能不全となった場合、同校を代替施設として使用する内容。同署は平成25年から市内の病院と代替施設の協定を結んでいましたが、昨年の熊本地震の際、多くの患者が押し寄せたため見直しました。



左から米満署長、福村社長